



3月11日（金）10：00、令和4年度 高等部入学選考検査の合格者を発表しました。

この日は、卒業式の予行練習が9：55～という計画でしたが、中学部の生徒は、受検前から、そして、受検後も、「合格できるかなあ？」と、緊張と心配でいっぱい気持ちで、この日を迎えていました。『発表を確認してからでないと、卒業式の練習に気持ちが向かないな』ということで、前日に、予行練習を10分遅らせて始めることにしました。

発表5分前、張り出させるボードから5m離れた職員室前の廊下で待機。担任に、「まだ？」「もうすぐ？」と、職員室に居た教師から、「これを」と、スマホが登場、秒読み開始です。

10：00ちょうど、合格者番号が張り出されると、スタートダッシュ。「やったあ」「よし」、ガッツポーズといった具合で、在校生の待つ体育館に向かいました。

令和4年度
高等部入学者選考検査
合格者発表

令和3年度 卒業式

3月1日（火）に、二学部（通学生）高等部の、3月15日（火）には、午前中に、二学部中学部の、午後に、一学部（入院生）中学部・高等部の卒業式を挙行了しました。例年であれば、一学部の通学できている児童生徒は、二学部と合同卒業式の形をとるのですが、コロナ禍の中、今年度についても、入院生は病院で、通学生は体育館で行いました。

一学部の様子を紹介します。



一学部は、療育訓練室で病棟ごとに行いました。また、保護者の方には、リモートを活用していただきました。和歌山病院からも、病院長をはじめとして、関係の皆様にご臨席をいただき、厳粛な雰囲気の中で行うことができました。感染対策のため、在校生の多くは式に出席することができませんでしたが、在校生送辞では、児童生徒と教員とで作った心温まるビデオメッセージが送られました。卒業生答辞では、卒業生と担任を中心に、みはま支援学校で学んだ月日が、ビデオに映し出されました。



「卒業された皆さんのこれからの人生が、ともに寄り添って歩んでくれる人たちとの充実した日々でありますように願っています」

（小学部主事 矢川 友子）

